

鎌倉教育研究会 平成29年度 紀要(1)

追補版:平成29年(皇紀2677年)6月7日

鎌倉教育研究会 事務局 若林 高明

I. 人類第6000年紀(AD2001～)の始まりに生きる瑞穂の国の臣民(日本人)は、
何処に向かうのか!...

①人類第1000年紀～第2000年紀(BC3000～BC1001)・・・文字の誕生と最初の文明(エーゲ文明始まる、古代インダス文明、東アジア・黄河文明の幕開け etc.)
稲作(プラントオパール*・熱帯ジャポニカ:畑作 or 焼畑作)(岡山県・朝寝鼻遺跡等)
縄文人の大集落建設(≧500人)(青森県・山内丸山遺跡:大麦・粟・稗・豆・キビ・
瓢箪・エゴマを栽培、酒醸造、漁労等)、人々は自然の豊かな恵みに感謝し、また、
子孫を生み育てる女性をかたどった独特の土偶や漆塗りの装飾品などをつくって祈りを捧げて居た。縄文時代は、平和で安定した社会がつづき、日本人の穏やかな性格と日本文化の基礎が育まれたと考えられる。

*植物の細胞組織に充填する非結晶含水珪酸体($\text{SiO}_2 \cdot n\text{H}_2\text{O}$)。

植物は土壌中の珪酸(水に溶けたケイ酸塩)を根から吸収し、特定の細胞の細胞壁に蓄積しガラス質の細胞体を形成する。その形状で植物(特にイネ科)を判別出来る。

②人類第3000年紀(BC1000・BC1)・・・世界帝国の時代(ローマの建国、古代エジプト王国、ペルシャ帝国、支那・戦国時代etc.)、知の爆発時代到来(太陽暦の創始、ギゼーの大ピラミットの建設、ハムラビ法典制定、ギリシャ哲学、仏教のおこり、支那・儒家思想成立(孔子:儒家の祖)etc.)

瑞穂の国の始まり(灌漑施設を伴う水田と温帯ジャポニカ産出)(佐賀県・菜畑遺跡)、日本はほぼ国家統一を成し遂げ、朝鮮半島や東シナ海へ進出(黒潮を乗り切る航海術編み出す⇒八丈島の縄文遺跡から黒曜石が発掘)、稲作は日本から朝鮮へ伝播。太陽運行を意識したストーン・サークルや日時計を思わせる遺跡(栃木県・寺野東遺跡、群馬県・天神原遺跡、秋田県・大湯遺跡等)・・・我々の先祖・縄文人は当時「世界の最先端を走っていた偉大な民族」であったと認識出来る。

③人類第4000年紀(AD 元年～1000年)・・・漢とローマ帝国から拓跋帝国とフランク王国へ(1世紀～5世紀)、一神教革命の成就(6世紀～7世紀)、ムハンマドなくしてシャルルマーニュなし(8世紀)、イスラムの大翻訳運動とヴァイキングの活躍(9世紀)唐宗革命とイスラム帝国の分裂(10世紀)

高句麗、百済を攻めてかえって破れる。倭軍、新羅を破り、朝鮮半島の南端を勢力

下におく。聖徳太子の摂政(冠位十二階を制定、憲法十七条を制定)、大化改新(年号の初め:大化元年)(1世紀)

④人類第5000年紀前半(AD1001~1500年)・・・ユーラシアの温暖化と商業の隆盛(11世紀)、中世の春(12世紀)、パクス・モンゴリア(13世紀)、寒冷化とペストの時代(14世紀)、武家政治・鎌倉幕府(源頼朝、征夷大將軍に就任)始まる(12世紀)元寇(文永の役、弘安の役)を破る(13世紀)、

⑤人類第5000年紀後半(AD1500~2000)・・・新大陸発見と大航海時代(16世紀)、列強の植民地支配とアメリカ大陸植民地建設(17世紀)、30年戦争と国際会議(ウエストファリア条約締結)開催(17世紀)、イギリス産業革命とフランス大革命(18世紀)西欧各国に経済恐慌拡大(19世紀)、世界戦争の勃発と科学技術躍進(20世紀)江戸幕府(17世紀~19世紀)、明治維新(19世紀)、大日本帝国憲法・皇室典範発布(19世紀)、日清・日露戦争の勝利と大東亜戦争敗北(19世紀~20世紀)、外国軍隊(連合軍・米軍)の駐留と日本国憲法(GHQ版・日本占領基本法)下へ(20世紀)

⑥人類第6000年紀(AD2001~)の始まり・・・どしゃ降りの雨で始まる:
アメリカ同時多発テロ事件(2001.9.11.)、リーマンショック(2008.9)、東日本大震災(2011.3.11.)、アラブの春と中東の混迷(ビン・ラーデイン殺害、ISILが跋扈)(2010~)北朝鮮の核開発(2006~)、支那(中共)の南シナ海軍事基地化とG2野望(2012~)、米国第45代トランプ大統領誕生(2017.1.20.~)、

瑞穂の国の臣民(日本人)は真の独立国家へと脱皮出来るか(第2次安倍政権樹立)(2012.12.26.~)

我が国が真の独立国家となるためには、”強い経済力、強い軍事力そして確固たる価値観の確立”が必要である。20世紀に入り、強い経済力は確保出来たが、中でも問題は軍事である。GHQ版憲法があるから、私達の国土を守り、子供を守り、孫を守り、その責任を全部引き受けるという気概が何処かに行ってしまっている。

[GHQ(マッカーサー総司令部)は日本を軍事的に征服したうえで、日本民族から記憶を奪い、精神を破壊して、占領を終了した後も、未来永劫にわたってアメリカの属国としてつくりかえるために、日本に対して全面的に歴史戦を開始した。**WGIP**(War Guilt Information Program 戦争についての罪悪感を日本人の心に植え付けるための宣伝計画)は、日本をアメリカに隷属させる計画の柱だった。]

その為にも、このGHQ版憲法(我が国に主権が無い占領下の1946年制定)を改正

しなければなりません。そして価値観の確立をしなければ、本当の意味での自立した国家にはなれません。多くの人達が、やっぱり今の日本はおかしいねという考え方を持ち始めています。

このような熱意あふれる人々がゐて、その輪が広がって行く、また、広げていかなければならないと存じます。その広げていくための材料は、私達が歴史を確りと見つめることさえすれば、沢山出てくるのです。

私達の両親、そのまた両親、曾祖父母の世代にまで遡り振り返りながら、この歴史の真実というものを私達が受け継ぎ、そしてまた次の世代に繋いで行くことがとても大事なのです。

◎「2020年 新憲法を施行」安倍晋三首相 5月3日改憲派憲法集会にビデオメッセージを寄せた。

安倍首相メッセージ骨子：

- ☆憲法改正は自民党立党以来の党是。憲法改正発議案を国民に提示するため、憲法審査会で具体的議論をリードしたい。
- ☆9条の平和主義の理念を堅持。1項、2項を残しつつ自衛隊を明文で書き込む考え方は国民的議論に値する。
- ☆憲法で国の未来の姿を議論する際、教育は極めて重要なテーマ。高等教育も全て国民に真に開かれたものしなければならない。
- ☆夏季五輪・パラリンピックが開催される2020(平成32)年を新しい憲法が施行される年にしたい。

(平成29年5月4日付け産経新聞記事より)

Ⅱ. 憲法と教育勅語関連ニュース:

①明治天皇の五箇条の御誓文・・・1868(明治元)年3月14日

日本の民主主義の基本と、普遍的な理念

天皇みずから國難の先頭に立って伝統あるこの國を護り、世界各國との親交を深めつつ國を隆昌に導こうとするにあたり、國民への協力を求める告諭(宸翰)が、御誓文とあわせて布告された。

②大日本帝国憲法・皇室典範發布・・・1889(明治22)年2月11日公布

第1条 大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス(第4条:天皇の国家元首規定)

第2条 皇位ハ皇室典範ノ定ムル所ニ依リ皇男子孫之ヲ繼承ス

③教育勅語の下賜・・・1890(M23)年10月30日

明治天皇は帝国國民に“教育に関する勅語”を下賜:

明治維新後の規範意識の欠如・道徳の退廃・伝統文化の無視・舶来思想・学校教育の混乱等で困り果てていた「全国長官會議(知事会)」の、6年越しの教育再建運動が実を結んだものである。

教育勅語に扱われた12の徳目:

- 1.父母ニ孝(こう)ニ 親や先祖を大切にしましょう
- 2.兄弟(けいてい)ニ友(ゆう)ニ 兄弟仲良くしましょう
- 3.夫婦相和(あいわ)シ 夫婦はいつまでも仲むつまじくしましょう
- 4.朋友相信(ほうゆう)ジ 友達はお互いに信じあいましょう
- 5.恭儉(きょうけん)己(おの)レヲ持(じ)シ 自分の言動を慎みましょう
- 6.博愛衆(しゅう)ニ及ボシ 広くすべての人に愛の手をさしのべましょう
- 7.学ヲ修メ業(ぎょう)ヲ習ヒ 勉強にはげみ技能を身につけましょう
- 8.智能ヲ啓発シ 知徳を養い才能を伸ばしましょう
- 9.徳器(とつき)ヲ成就(じょうじゅ)シ 人格の向上につとめましょう
- 10.公益(こうえき)ヲ広メ、政務(せいむ)ヲ 開キ広く世の人々や社会のためにつくしましょう
- 11.國憲ヲ重(おもん)ジ、國法ニ遵(したが)ヒ 規則に従い社会の秩序を守りましょう
- 12.一旦緩急(かんきゅう)アレバ、義勇公(こう)ニ奉(ほう)ジ勇氣をもって世のためにつくしましょう

④日本国憲法制定・・・1947(昭和22)年5月3日施行・・・2017年:憲法施行70年目

日本国被占領下(国家主権なし)に制定=GHQ 版日本国占領基本法・・・GHQ の占領政策を担う若手民政局員らが、ごく短期間で草案を書き上げる。日本の非武装化・弱体化を狙う明確な意図すら込められていた。(奴隸的な支配の甘受を許容する)

***ドイツ帝国**は、連合軍に降伏に際してあくまでも三つの条件を付け、それが受け入れられぬ限り徹底的に戦うと主張した。

条件①戦後のドイツ国家の基本法(憲法)は、あくまでドイツ人自身の手によって作る。

条件②戦後の子弟の教育指針はドイツ人自身が決める。

条件③たとえ少数(規模)でも国軍を残すこと。

この国家民族(ドイツ民族)の主体性を踏まえた主張は、勝者の連合軍側にも受け入れられ、ドイツ(白人国)は他国(連合軍)による完全支配を免れた。

日本という有色人種による軍事国家の誕生が中世以来の白人国支配という歴史の原理を変えたことは間違いない。白人国による他地域への支配を象徴する強大な帝国海軍を保有した有色人種の国家は唯一日本であり、世界一強大で強力な戦艦『大和』や『武蔵』を保有するに至った日本国は、白人国支配に対する歴史的『NO』を示す目障りな存在だった。

よってアメリカ(GHQ=連合軍最高司令官総司令部)により、戦後の日本支配はその復活を半永久的に封じ込めるためのものに他ならない。⇒(GHQ 主権の日本国憲法制定=原本は英語表記⇒これの日本語訳文章に昭和天皇が御名御璽されたもの。)

何より、「平和を愛する諸国民の公正と信義に(=『を』)信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」と掲げる前文(誤訳部分)は罪深い。存在しない子供じみた絵空事を国の最高法規で説くことで、9条2項と連動し、日本人のモラルと国際感覚、現実認識を歪めて来た。世界は腹黒い諸国ばかりである。他国に自国民の生命・身体・財産を委ねている国家は、地球上に日本国以外には存在しない。

白洲次郎氏「吉田茂の最大の間違ひは、サンフランシスコ講和会議で日本の独立が認められた国際会議で、アメリカ製の憲法の破棄を宣言しなかったことだ」・・・1951(S26)年9月9日(平和条約調印、日米安保条約調印)⇒1952(S27)年4月28日発効

◎現憲法改正・喫緊の課題とは:

(ア) 首都直下型地震など大規模災害や有事(化学兵器&核搭載ミサイル着弾 etc)に備える緊急事態条項の盛り込みは必須である。

(イ) 自衛隊に関する記述が無い。・・・避けられない「9条」改正・・・9条2項でどうやって国民の生命・身体・財産を守るのかの言及がない投げやりで無責任な条文である。

(ウ) 現行版の教育無償化制度(私立学校にも適用中)でも、第89条に抵触する。

(エ) 自衛の為の敵基地攻撃に対する法規

(オ) 日本国全土の防衛についての法規(スイス・イスラエル:核シェルター100%の完備、米国:82%、ロシア:78%、日本:≧0.002%、皇居・国会議事堂地下に!?)

⑤**教育基本法・学校教育法公布**・・・1947(S22)年2月、4月:六・三・三・四制実施。

1946(S21)年の時点では教育勅語は併存していたが、奉読と神聖的な取り扱いを禁止。1948年(S23)年6月 GHQ からの口頭命令で、衆・参議院で排除・失効決議。

⑥**日教組**(日本教職員組合)結成・・・1947(S22)年6月

戦後日本の教育界(旧帝国大学系教育学部、旧高等師範学校)は、前者では特にロシア革命直後の教育理論である『ソビエト教育学講話』が金科玉条のように教えられた。それは昭和24年以降、GHQ の意向により教員にはマルクス主義者が集められたことによる。この人達が日教組講師団として、各地の大会や教研集会に講師として派遣された。ソビエト教育学者には、ナデジタ・クルプスカヤ女史(レーニン夫人)とアントン・マカレンコ氏の二人が居る。彼らのソビエト教育学理論を導入。集団主義教育・階級闘争史観の教育理論が主流となり、今日「比較教育学」として生き残る。

⑦**教育委員会法公布**・・・1948(S23)年7月、

⑧**教育公務員特例法公布**・・・1949(S24)年1月、

⑨**義務教育費国庫負担法公布**・・・1952(S27)年8月、

⑩**中央教育審議会設置**・・・1952(S27)年10月、

⑪**修正教育2法成立(教員の政治活動の制限)**・・・1954(S29)年5月、

⑫**道徳教育の実施義務化規則改正**・・・1958(S33)年4月

⑬**高等学校学習指導要領告示発表**・・・1960(S35)年10月(‘63年度より実施)

⑭**小学校児童・中学校生徒指導要領の通達**・・・1961(S36)年2月

⑮**義務教育教科書無償配布法成立**・・・1963(S38)年12月

⑯**文部省指導要領改定(到達度評価を導入)**・・・1980(S55)年2月、

ゆとり教育(=ゆるみ教育)の実施・・・1980(S55)年～2010(H22)年

教科書:70% × 授業時間:70%=49%・・・学力半分と成る。π = 3(3.14)

学校の週休2日制実施(第2土曜)始まる・・・1992(H4)年9月～現在毎週2日制

教師は労働者=サラリーマン化⇒OECD 学力調査で日本はアジアで5位に下落。



2017(H29)年現在、授業内容(質・量とも)は以前の状態に戻った。

⑰**教育基本法の改正(新教育基本法)**・・・2006(H18)年12月22日施行・公布

⑱**道徳教育の教科化(学校教育法施行規則改正)**・・・2015(H27)年3月、⑫から60年間空白「道徳」は「特別の教科である道徳」と改められる。・・・2018(H30)年4月:小学校実施、2019(H31)年4月:中学校実施、2020(H32)年高等学校実施へ。

⑲**文科省、小中学校 次期学習指導要領の改定案**・・・2017(H29)年2月14日公表、同パブリックコメント実施・・・2017(H29)年2月14日～3月15日

◎聖徳太子⇒小:聖徳太子(厩戸王)、中:厩戸王(聖徳太子)⇒聖徳太子に戻る。*

◎大和朝廷⇒小・中:大和政権⇒大和朝廷(大和政権)による統一の様子に戻った。

◎**教育勅語**は、学校教育用教材として問題なしと政府答弁書・・・2017年3月31日

***教育勅語について:**

③**教育勅語の下賜**・・・1890(M23)年10月30日:明治天皇の「教育に関する勅語」である。日本国民への教育に関するお言葉と認識することである。

(1)1907年ロンドン大学で「日本の教育に付いての講演会」開催される。

我が国が日清戦争・日露戦争(1904-1905)に勝利した後、世界の一大注目を浴びる。それで、1905(明治38)年7月、英国ロンドン大学より日本政府に「ロンドン大学での日本の教育に付いての講演会」の依頼が入る。日本政府は教育行政の大家の**菊池大麓男爵**(英国2度留学、東京大学総長、文部大臣経験者)を派遣した。

「教育勅語」を、当時の牧野伸顕文部大臣以下10名の専門家による英訳(東京大学お雇英国人教師ローレンスとロイドも協賛)をして、「官定翻訳教育勅語」が完成した。1907年2月、ロンドン大学における菊池男爵の7ヶ月間に25回にも及ぶ講演記録は、2年後の1909(M42)年に、英文の「**日本の教育**」(388頁)として出版され、英国のマスコミ、教育界で大きな反響を呼んだ。⇒その後、教育勅語はフランス語翻訳やドイツ語翻訳、台湾語翻訳等と各国語に翻訳されて、世界各国に拡散された。

(2)かつて日本には、修身という教科があった。

かつて日本には、**修身**という教科が、小学校で教えられていた。この修身の教科書には25項目に及ぶ徳目を日本人にとって馴染みの深い過去や現代の偉人や有名人の言葉やエピソードをふんだんに用いて教えていた。この修身教科書のバックボーンになる徳目は、明治天皇の教育に関する勅語(教育勅語)の12徳目にも合致したもので、時代や國、文化に縛られない普遍的な人の有り様を伝える内容がほとんどであった。ゆとり教育の残渣が残る現代にも十分に通じる「**道徳の教科**」でもある。

この修身は、1945(S20)年の大東亜戦争の敗戦により、同年12月31日のGHQによる占領指令「修身、日本歴史及び地理停止に関する件」で授業が停止と教科書回収が決定され、日本の教育の現場から姿を消した。

(3)海外における修身の復活、米国レーガン政権下にて道徳読本が編纂された。

“The Book of Virtues : A Treasury of Great Moral Stories “(**道徳読本**)

—日本の戦前に使用されていた修身が再認識されたのである—

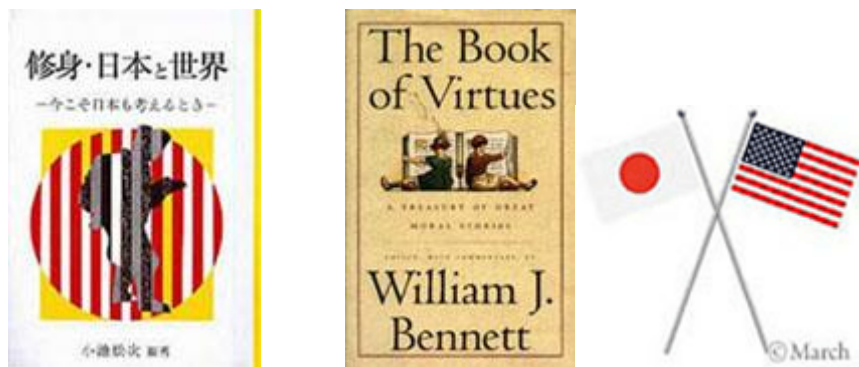
日本では、既に過去のものとして社会から消えてしまった修身がアメリカでレーガン大統領の時代(1981年1月20日～1989年1月20日)に、米国の若者への道徳教育の為の新たな指針と言うことで、日本の戦前使用されていた修身が再認識され、米国の教育の道徳教育で使われるようになった。

レーガン大統領が就任すると直ちに道德教育の復興に乗り出した。当時のアメリカの青・少年の風紀は最悪で、暴力や麻薬の蔓延で荒廃の極みに達していた。

その原因は皮肉なことに、最高裁判所が「生徒規則や学校規則で生徒の自由を束縛してはならない」と決めたことでした。自由奔放でやりたい放題、規則や道德教育不在では、まともな人物は育ちません。学校教育は成り立ちません。「アメリカが滅ぼされる」とレーガン政権は真剣に対策を検討しました。では一体、誰がアメリカを滅ぼすのでしょうか。敵軍ではありません。それは不良集団と化したアメリカの青年達でした。

米国の道德教育改革を担っていた米国の文部長官を務めたウィリアム・J・ベネット氏は、レーガン政権の道德教育の担当者としての知識を“The Book of Virtues : A Treasury of Great Moral Stories “(道德読本)という本にして1993(平成5)年に出版した。これは830頁もの大著だが「第二の聖書」と言われるほど毎年ベストセラーとなり、アメリカだけでなくドイツやイギリスにも広がり、3000万部を突破したと報じられている。

このベネット氏の著書のオリジナルとなったのが、日本の教育勅語・修身の著名な研究者の小池松次先生が、1965(昭和40)年代に出版された『修身・日本と世界』でした。日本の修身が、現代になって再び認められるようになったということは、日本の失われた道德教育は正しいものであったということが証明されたので、非常に喜ばしいことです。



(4)「特別の教科である道德」の授業が、2018(H30)年4月より正式に開始される。

この流れから60年の歳月を経て、やっと我が国でも2018(H30)年4月から公教育の現場(小学校より)で順次、「特別の教科である道德」が実施されることとなった。

以上

鎌倉教育研究会 平成29年度 紀要(1) 参考資料:

1. 神武天皇はたしかに存在した-神話と伝承を訪ねて- 産経新聞取材班
(株)産経新聞出版 平成28年 「2015年
2. 道徳の教科化-「戦後七〇年」の対立を超えて- 貝塚茂樹著 (株)文化書房博文館
3. 世界の徳育の手本となった「教育勅語と修身」 小池松次著 日本館書房 H23年
4. 明治という奇跡-栄光の時代を訪ねて- 皿木喜久著 展転社 平成28年
5. 日本人が目覚めた「国難の日本史」 藤岡信勝著 (株)ビジネス社 2015年
6. 日本の古代史-本当は何がすごいのか- 武光誠著 育鵬社 2014年
7. 日本人ルーツの謎を解く 長浜浩明著 展転社 平成22年
8. 古代日本「謎」の時代を解き明かす 長浜浩明著 展転社 平成24年
9. 全体主義と闘った男 河合栄治郎 湯浅博著 (株)産経新聞出版 平成29年
10. 「新装版」国難の正体 馬淵睦夫著 (株)ビジネス社 2014年
11. 日本「国体」の真実 馬淵睦夫著 (株)ビジネス社 2015年 「2013年
12. 英国人記者が見た連合軍戦勝史観の虚妄 ヘンリー・S・ストーク著 祥伝社新書
13. 一万年の進化爆発 文明が進化を加速した グレゴリー・コクラン、ヘンリー・ハー
ベンディング著、古川奈々子訳 日経BP社 2010年
14. 真実の中国史[1840-1949] 宮脇淳子著 岡田英弘監修 李白社 2011年
15. 真実の満洲史[1894-1956] 宮脇淳子著 岡田英弘監修 (株)ビジネス社 2013年
16. 真実の中国史[1949-2013] 黄文雄著 (株)ビジネス社 2013年 「平成24年検定
17. 高等学校 最新日本史 渡部昇一・小堀桂一郎・國武忠彦他20名 (株)明成社
18. 新版 新しい歴史教科書 杉原誠四郎著他 (株)自由社 平成27年検定合格版
19. 世界史年表・地図 亀井高孝編他 吉川弘文館 2016年
20. 日本史年表・地図 児玉幸多編他 吉川弘文館 2016年
21. 「全世界史」講義Ⅱ 近世・近現代編 教養に効く! 人類5000年史 山口治明著
(株)新潮社 2016年
22. ひと目でわかる「慰安婦問題」の真実 水間政憲著 PHP研究所 2014年
23. ひと目でわかる「GHQの日本人洗脳計画」の真実 水間政憲著 PHP 2015年
24. 日本人を狂わせた洗脳工作 関野通夫著 (株)自由社 ブックレット1 2015年
25. いまなお蔓延するWGIPの嘘 関野通夫著 (株)自由社 ブックレット6 2016年
26. 戦後日本を狂わせたOSS「日本計画」 田中英道著 展転社 平成23年
27. 再現 南京戦 東中野修道著 (株)草思社 2007年
28. 【再検証】南京で本当は何が起こったのか 阿羅健一著 徳間書店 2007年
29. 大東亜戦争は、アメリカが悪い 鈴木敏明著 勉誠出版(株) 2015年
30. 「武士道」解題 ノーブレス・オブリージュとは 李登輝著 小学館 2003年
31. 「日本を解体する」戦争プロパガンダの現在 WGIPの源流を探る 高橋史朗著:
32. 無知と文明のパラドックス 小山和伸著 晃洋書房 2017年 「宝島社 2016年